

劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」

上映をすすめる大阪の会結成総会

日時：8月19日（火）18：30～ 場所：大阪グリーン会館 2階ホール

<当日企画> * ミニコンサート 野田淳子さん、ミニ学習「中国残留孤児訴訟とは」弁護団・帰国者、

* 映画撮影の最新状況報告、DVD上映－「満蒙開拓団とは」等を予定しています。

参加のお願い

日本の中国侵略戦争で多くの犠牲者を出した満蒙開拓団の悲劇を題材にした劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」は、山田火砂子監督、原作・脚本の和田登さん、主演を演ずる内藤剛志さんによる4月の記者会見後、11月14日東京での完成披露試写会めざし製作が急ピッチですすめられています。

現在82歳になる山田火砂子監督は、「若者には、いい加減な報道を見破る力を持ってほしいと思います。満蒙開拓団の話は、決して昔の事で終らす事の出来ない『いま』につながる話なのです。悲惨な戦争を体験した世代として私はただただ平和な日本でありたいと、この『望郷の鐘』を作ろうと決心しました。」と映画製作の想いを語っておられます。

この大阪でも、監督の想いと心ひとつになって、若い世代をはじめ、戦争体験者・引き揚げ体験の世代もこの映画から歴史の真実を学び、改めて平和の大切さを考える機会になればと願っています。多数の方の参加をお待ちしています。

劇映画「望郷の鐘－満蒙開拓団の落日」上映をすすめる大阪の会

事務局：日本中国友好協会大阪府連（06-6372-8131）



結成総会で、野田淳子さんに歌っていただきます。

1. はぐれつばめが 大空で
親を探して 鳴く声聞けば
■涙が溢れて 止まらない

2. 雪の荒野を 泣きながら
親を探した 幼い日々も
■親を恨んだ ことはない

3. 筆をとっては 親想い
熱い涙が 溢れるばかり
■巡る春秋 幾度か

4. 父母たずねて 幾年 (いくとせ)
たとえ一目と 夢見て来たが
■空しく祖国を 離れ行く

5. 桜は咲いて また散るが
同胞人 (はらからびと) の熱い心は
■いついつまでも忘れない
●いついつまでも忘れない

孤燕長空鳴親人
啼破長空涙1分1分
堤筆思親熱涙流
桜花時開又時落
同胞情意永不忘

劉信英

はぐれつばめ (孤燕)

劉 信 英 原詞
すずきよし 作詞
作曲



1. はぐれつばめが おぞらで
2. ゆきのこうやを なきながら
3. ふでをとっては おやおもい
4. ちちははたずねて いくとしか
5. さくらは さいで またちるが



おやをさがして なくこえきけ
おやをさがした おさないひびも
あついなみだが あふれるばかり
たとえひとめと ゆめみてきたが
はらからびのと あついこころは



なみだが あふれて とまらな
おやを うらんだけ とはな
めぐる はるあき いくたびか
むなしく そこくを はなれゆく
いついつ までも わすれな